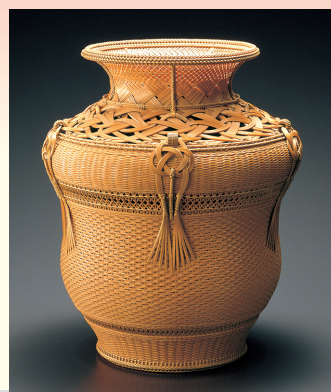




喜多川歌麿

栃木市立美術館
開館記念展

刑部人



飯塚琅玕齋

明日に

つなぐ物語

鈴木賢二



清水登之

橋本邦助

島霞谷・隆

田中一村

2023.

4 | 15^土

— 6 | 18^日



©雲田はるこ



田中一村《アダンの海辺》1969 (昭和44) 年 個人蔵 (千葉市美術館寄託) ©2023 Hiroshi Niiyama

開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日：毎週月曜日

観覧料：一般・大高生 1000 (800) 円 / 中学生以下無料

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介助者1名は無料
※() 内は20名以上の団体料金

主催 栃木市教育委員会、栃木市立美術館

後援 朝日新聞宇都宮総局、産経新聞社宇都宮支局、下野新聞社、東京新聞宇都宮支局、毎日新聞宇都宮支局、読売新聞宇都宮支局、NHK宇都宮放送局、株式会社エフエム栃木、ケーブルテレビ栃木、株式会社とちぎテレビ、株式会社栃木放送

栃木市立美術館
Tochigi City Art Museum



www.city.tochigi.lg.jp/site/museum-tcam/
〒328-0016 栃木県栃木市入舟町7-26 Tel:0282-25-5300

〈右上から〉 飯塚琅玕《華鑑 富貴》1945 (昭和20) 年 個人蔵 撮影：田中学而〔前期展示〕 鈴木賢二《署名》1960 (昭和35) 年 栃木市立美術館蔵 田中一村《アダンの海辺》1969 (昭和44) 年 個人蔵 (千葉市美術館寄託) ©2023 Hiroshi Niiyama
〈左上から〉 喜多川歌麿《高島おひる》1793 (寛政5) 年 東京都江戸東京博物館蔵〔前期展示〕 清水登之《水兵のいるカフェ》1926 (大正15) 年 東京都現代美術館蔵 雲田はるこ『昭和元禄落語心中 第1巻カバー表』2011 (平成23) 年 個人蔵
※会期中、展示替えがあります

明日につなぐ物語

2023年4月15日(土)～6月18日(日)

※会期中、展示替えがあります。

【前期】4月15日(土)～5月14日(日)

【後期】5月16日(火)～6月18日(日)



田中一村《榕樹に虎みづく》1973(昭和48年)頃
田中一村記念美術館蔵 ©2023 Hiroshi Niiyama



橋本邦助《幕間》1909(明治42)年
株式会社歌舞伎座蔵



島隆《カボチャを担いで笑う島霞谷像》
1860年代 群馬県立歴史博物館寄託



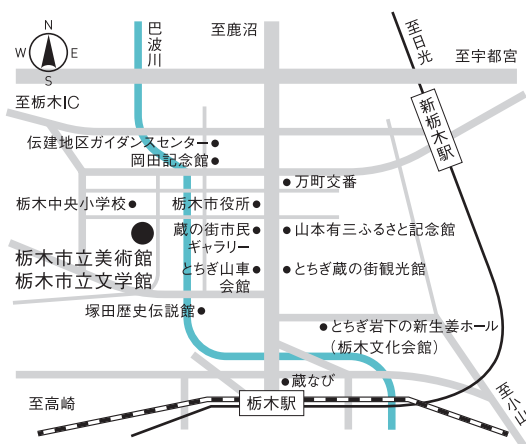
齋藤文石《盛盤》1958(昭和33)年 栃木市立美術館蔵
撮影：田中幸而



喜多川歌麿《仁王とおきたの枕引》1793-94(寛政5-6)年頃
川崎・砂子の里資料館蔵【後期展示】



刑部人《断崖》1950(昭和25)年 栃木県立美術館蔵



栃木市立美術館 Tochigi City Art Museum

www.city.tochigi.lg.jp/site/museum-tcam/
〒328-0016 栃木県栃木市入舟町7-26 Tel:0282-25-5300

交通アクセス
【電車】栃木駅(JR両毛線、東武日光線)下車、北口から徒歩約20分
【バス】栃木駅北口からふれあいバス「市街地循環線(西回り)」等で
「藤沼酒店前」下車、徒歩約1分
【車】東北自動車道、栃木ICから約10分

巴波川をはじめとする河川は、栃木の地を豊かに潤すとともに、さまざまな物を運び、伝えてきました。農作物や木材が運ばれ、文化を伝える人々が訪れ、この地は物と人、知識や美の行き交う場所として栄えてきたのです。巴波川の流れにも近い入舟町の地に開館した栃木市立美術館は、開館記念展として「明日につなぐ物語」を開催します。

さまざまな人と文化が交差する中で、栃木市からはすぐれた美術作家が生まれています。本展では江戸時代の浮世絵師 喜多川歌麿、幕末から明治初期にかけて写真術の黎明期に活躍した島霞谷・隆夫妻、明治から昭和にかけて洋画・日本画の両方で制作した橋本邦助、竹工芸の名門飯塚一門、アメリカとヨーロッパに滞在し庶民の暮らしを描いた清水登之、奄美大島で孤高の画業を全うした田中一村、日本の豊かな風景を旅した刑部人、貧しくても力強く生きる人々を愛した鈴木賢二、そして現在活躍中の漫画家雲田はるこという栃木市ゆかりの9名(組)の作家を紹介します。

【出品作家】 喜多川歌麿、島霞谷・隆、橋本邦助、竹工芸・飯塚一門(二代飯塚鳳齋、飯塚琅玕齋、飯塚小環齋、齋藤文石、飯田清石)、清水登之、鈴木賢二、刑部人、田中一村、雲田はるこ

関連イベント

① 開館記念講演会

「栃木が育てた浮世絵師歌麿、栃木に生まれた日本画家田中一村」

講師：小林忠氏(岡田美術館館長)

日時：4月15日(土)14時～15時

会場：キョクトウとちぎ蔵の街楽習館 大交流室

定員：70名(要事前申込、先着)

参加費：無料

② スペシャルギャラリートーク

「喜多川歌麿の画業と魅力」

講師：山本ゆかり氏(川崎・砂子の里資料館学芸員、多摩美術大学講師)

日時：5月6日(土)14時～16時

(14時～15時10分ミニ講演会、15時20分～16時ギャラリートーク)

会場：キョクトウとちぎ蔵の街楽習館 大交流室、栃木市立美術館展示室

定員：40名(要事前申込、先着)

参加費：無料

※美術館でのギャラリートークは当日の観覧券をお求めのうえ、多目的室(つなてみち)にお集まりください。

③ 雲田はるこ氏サイン会

日時：5月13日(土)14時～

会場：キョクトウとちぎ蔵の街楽習館 大交流室

定員：70名(要事前申込、申込多数の場合は抽選)

※参加にあたって当館開館記念展「明日につなぐ物語」の図録の購入が必要です。

※図録は美術館にて事前にお求めください。(会場での販売もあります)

④ 学芸員によるギャラリートーク

日時：4月29日(土)、5月14日(日)、6月4日(日)各回14時～

※当日の観覧券をお求めのうえ、多目的室(つなてみち)にお集まりください。

【申込方法】

2023年3月24日(金)9時～ 受付開始

①②→電話受付

③→栃木市電子申請システム 美術館公式サイト、SNSをご覧ください。

※感染症の状況等により、日程等が変更となる場合があります。

最新情報は美術館公式サイト、SNSをご確認ください。

雲田はるこによる栃木をテーマにした『昭和元禄落語心中』描き下ろしイラストを含む、モノクロ・カラー原画など約50点を展示！(原画については、会期中展示替えがあります。)